福岡大学病院　腎泌尿器外科　卒後臨床研修プログラム

Ⅰ．研修プログラムの特色

１．レクチャー

腎泌尿器外科疾患に対する実践的検査・治療の解説

２．外来検査

経直腸的あるいは、経腹的腎・膀胱・前立腺超音波検査、膀胱鏡、尿流測定、膀胱内圧などの検査方法の習得と所見の解釈

３．処置の習得

尿道カテーテル、尿管ステントの留置方法、膀胱瘻・腎瘻造設の方法
膀胱タンポナーデの血塊除去・膀胱洗浄、持続、灌流の方法

４．外来・入院主治医としての患者対応、検査・治療計画の進め方の習得

５．腎泌尿器科手術

経尿道的内視鏡手術・腹腔鏡下手術・ロボット支援手術・小児泌尿器手術、腎移植など

Ⅱ．臨床研修の目標の概要

上記の習得を目標としますが、１ヵ月または２ヵ月という短期間ですので、研修内容は臨機応変に対応し、研修医の先生方の希望を考慮に入れ、オリエンテーションで相談し、スケジュールを組みます。

Ⅲ．研修期間　　１ヵ月または２ヵ月

Ⅳ．一研修期間中の受入れ可能人数　　３人

Ⅴ．当科の医療安全等に係る研修医教育

１．チーム医療と研修医―上級医―指導医の診療体制の意義について
２．小児泌尿器科の診断および治療について
３．腎移植について
４．尿路性器癌の診断と治療
５．抗がん剤や分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬等の使い方と副作用対策
６．尿路性器感染症の診断と治療について
７．腎外傷の診断と治療について
８．腎泌尿器外科一般処置（尿道カテーテル、膀胱鏡、尿管ステント、腎瘻カテーテルの管理や適応について）
９．腎泌尿器外科腹腔鏡手術について（ドライボックスにて実際に縫合や手術器具の使用法について解説）

※　月・水・金曜日の手術中には、麻酔導入中に手術疾患に対する説明を行い、閉創時には皮下縫合や糸結びを指導し実際に施行させる。

備　考　：　ご質問のある方は、お気軽に医局長の松﨑　洋吏までご連絡ください。